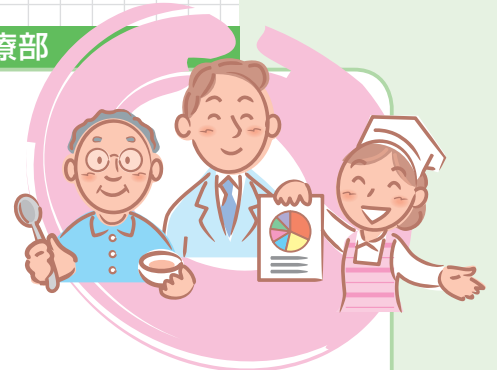


- がん患者さんの栄養管理
- 医療安全管理部は「患者さんに最適な医療を受けていただく」ための部門です
- クオリティインディケーターのご紹介
- シリーズ「医療用語解説」第16回
- 医学生の臨床実習に関する文書同意取得について

## がん患者さんの栄養管理

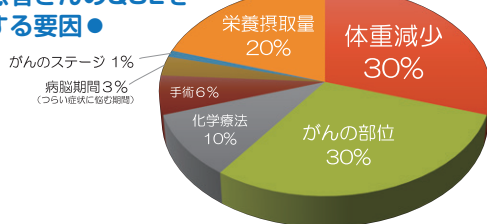
栄養治療部



がん患者さんの数は、高齢化とともに年々増加しています。がんの治療においても栄養管理は大変重要です。治療中の患者さんにおいては、栄養状態の良し悪しが患者さんのQOL（生活の質）に直結していますので、前向きに治療に取り組むためにも、口

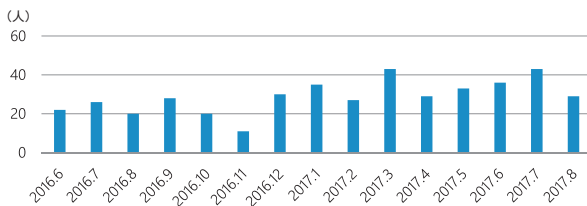
からおいしく食事が食べられること、体力を維持することがとても大切です。これまで、栄養治療部では入院治療中のがん患者さんに栄養サポートをおこなってきましたが、2016年6月から腫瘍センター化学療法部門と連携して、外来化学療法室での栄養指導も開始しました。治療による副作用である吐き気や食欲不振への対応、少しでも栄養状態を保持するために、食べやすい食材の選択や調理方法など、患者さんに病状に応じて相談を受けています。

### ●がん患者さんのQOLを左右する要因●



対象：頭頸部腫瘍、食道がん、胃がん、結腸がん、271例(Stage I~IV)  
Ravasco P, et al. Support Care Cancer, 12: 246-252, 2004

### ●栄養指導件数●



また、入院患者さんには、嘔気のある期間に提供できる食事として「**リファイン食**」を導入しました。臭いや味覚が低下している人でも食べられるように、しっかりした味付けのものや冷たいものなどを提供しています。私達は口から食べて腸から栄養を吸収します。点滴だけでは腸の粘膜がやせ細って、そこからバイ菌が入り込み感染症の原因ともなります。これは、がんの治療により免疫力が低下している体にはとても大きなダメージになります。そのためにも一口でも口から食べてもらう事を目標に取り組んでいます。さらに、がんの影響で腸閉塞となった患者さんに対して少しでも食べる楽しみを保持する目的で「**やわらか食**」なども導入しています。見た目は普通の食事ですが、酵素均浸法により口腔内で溶けるように調理されています。「あいと」という市販の食品を利用したものです。

食事などの事でお困りの事がありましたら、栄養治療部（病院2階）にお気軽にご相談ください。

### リファイン食



### やわらか食



# 医療安全管理部は 「患者さんに最適な医療を受けていただく」ための部門です

医療安全管理部



皆様ご存知の通り、昨今の医療の進歩には目を見張るものがあります。例えば、内視鏡という道具を使うことで小さな傷あとしか残らない手術や、ロボットを使って遠隔操作で手術が行われたり、患者さんにとって身体的、精神的にも負担が少ない医療へと日々更新されています。しかし、どのような優れた治療をもってしても、様々な要因により私たち医療従事者が患者さんに適切な医療を提供できなかった時、患者さんに不要な負担をかけてしまう場合も残念ながらあります。現在、目覚ましい医療技術の進歩の一方で極めて複雑化している医療システムのため、医療事故をゼロにすることは難しいと言われています。しかし、私たちは病院をよりよくすることを決してあきらめない姿勢で、“なぜ”問題が起こったかに着目し、同様の事故が2度と起こらないように検討した上で、当院スタッフに周知し、全科で共通認識できるようにしております。

医療安全管理部は「医療を適切に患者さんに届けるために、病院組織として改善できること」を考え、具体的に取り組んでいる部門です。医師、看護師、薬剤師、事務員など多職種の医療従事者で構成されており、院内の解決すべき事をさまざまな立場の視点から意見を出し合うことで速やかな改善を推し進めています。



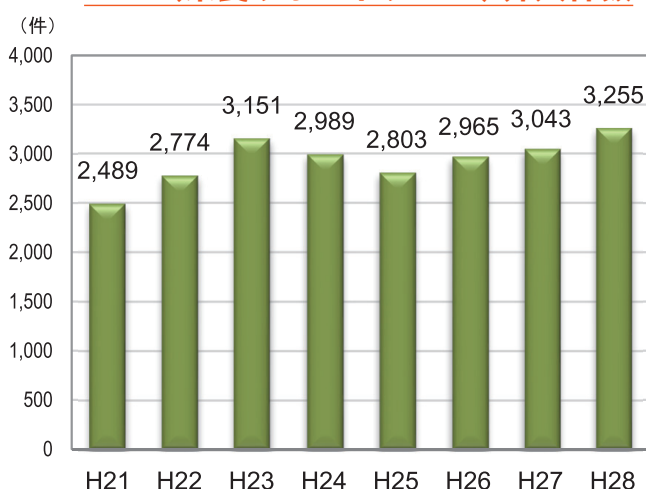
# クオリティインディケーター(QI)の ご紹介～NST(栄養サポートチーム)の介入件数～

病院管理課経営企画室

当院では、医療の質と医療の活動度に関する実績を取りまとめ、「QI：医療の質についての指標」として、約60項目をホームページで公表しています。その中から、今回は「NST(栄養サポートチーム)の介入件数」についてご紹介します。



## NST(栄養サポートチーム)介入件数



NST(栄養サポートチーム)では、栄養状態の悪い患者さん、もしくは治療に伴い栄養状態が悪化するリスクがある患者さんに対して、医師・歯科医師・管理栄養士・看護師・薬剤師・言語聴覚士・臨床検査技師・歯科衛生士などが連携し適切な栄養管理を実施することで、栄養状態の改善に努めています。

当院では、病棟にNSTのリンクナースを配置するとともに、入院時栄養評価においても積極的にスクリーニングを行い、NSTの介入につなげています。

## シリーズ「医療用語解説」第16回 ～平均寿命～

臨床研究開発センター



昨年、厚生労働省から滋賀県男性の平均寿命が81.78歳と全国1位であったと発表されました。女性の平均寿命も87.57歳と全国4位であり男女共に長寿県であることが大きく報じられ、この理由として、喫煙率や塩分摂取率の低さから、「鮎ずし」をよく食べる滋賀県の発酵食文化まで様々な要因が長寿の秘訣として話題になりました。

ところで、みなさん平均寿命とはどのようなものかご存知でしょうか？

「平均寿命」とは、その年に生まれた0歳児が、今の死亡状況がこのまま変わらなければ、何歳まで生きられるかを国の統計を元に予測したものを指します。0歳以外の方が何歳まで生きられるかを示す予測指標は「平均余命」として平均寿命とは別に公表されていますので、ご興味があれば調べてみてください。

難しい話はさておき、今後も滋賀県ならびに日本全国の平均寿命が少しでも長くなるよう、みなさん日々の健康には十分気をつけましょう！



# 医学生の臨床実習に関する 文書同意取得について

医療サービス課



患者の皆様には、日頃より当院における学生の臨床実習にご協力いただき、誠にありがとうございます。医学生は、臨床実習で皆様の診療に参加させていただくことにより、医師としての態度、技能を学び、将来の「医療を支える良き臨床医」へと成長していくことから、県内唯一の医科大学医学部附属病院である当院では、皆様の協力を得て、医学生の教育に真摯に取り組んでおります。

一方、国や医学部長病院長会議からは、医学生が診療に参加するにあたっては、患者の皆様の自筆署名による同意を得ることが推奨されていることから、当院においても、皆様に文書での同意をお願いすることとなりました。

つきましては、今後同意書の取得にあたり署名をお願いいたしますので、ご協力のほどよろしくをお願いいたします。

## 〈臨床実習の文書同意について〉

- 診療に参加させていただく学生は、医学科第5学年および第6学年の学生で、全国共通の試験（知識・技術）に合格した「スチューデントドクター」です。
- 学生が診療に参加する際は、指導医の十分な指導・監督のもとで実施いたします。
- 同意書を配付させていただきますので、説明書をお読みいただき、同意書に署名をお願いいたします。
- 臨床実習への協力に同意いただいた後でも、いつでも同意を取り消すことができます。



## 滋賀医科大学医学部附属病院 理念

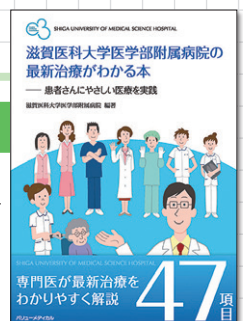
「信頼と満足を追求する『全人的医療』」

滋賀医大病院ニュース第54号  
編集・発行：滋賀医科大学広報委員会  
〒520-2192 大津市瀬田月輪町  
TEL：077(548)2012(企画(IR担当)課)  
過去の滋賀医大病院ニュース(PDF版)はホームページでご覧いただけます。



## ●理念を実現するための 基本方針

- 患者さんと共に歩む医療を実践します
- 信頼・安心・満足を提供する病院を目指します
- あたたかい心で質の高い医療を提供します
- 地域に密着した大学病院を目指します
- 先進的で高度な医療を推進します
- 世界に通用する医療人を育成します
- 健全な病院経営を目指します



院内ローンや京滋地区の書店で取扱い中